

## みんなの寄付 2021 年冬期募集 活動完了報告

### 《概要》

活動名：『小学生を対象としたアウトリーチ活動』

日時：2021 年 3 月 9 日・10 日、6 月 15 日

会場：小学校、中学校 2 校

小学生を対象とした国際理解を深め、クラシック音楽の生演奏を聴いてもらうためのアウトリーチ。また楽しく分かりやすいクラシック音楽をピアノの生演奏で聴いてもらい、クラシック音楽の普及を目指す。私が留学していた「ロシア」という国について、実際の写真、体験談を交えながら小学生に分かりやすく伝える。

### 《報告および成果》

八王子市浅川小学校、大磯町にある中学校 2 校（大磯中学校・国府中学校）を対象に子供達に向けたアウトリーチを行なった。

小学生を対象としたアウトリーチでは、前半はロシア語の文字や挨拶、天候等について実際の体験談も交えながら「ロシアとはどういう国なのか」ということに焦点を当てて話した。後半では校長先生のご協力のもと、椅子に整列しながらではなく、子供達にピアノの近くまで来て演奏を聴いてもらい、鳥のさえずりを模した曲や日本に因んだ曲などを演奏した。

中学校のアウトリーチでは対象年齢が上がるため、ロシアの概要だけではなく「留学とはどういうことなのか」「留学を志すきっかけ」など、彼らの今後の人生の参考になればと思い、経験談も話した。こちらではシューベルトのソナタやラフマニノフの「鐘」等を演奏した。

先生方からは「コロナ禍で学校では行事がなくなってしまった」と聞いていたが、アウトリーチについては「学校にいながら生徒達の思い出になる時間をプレゼントできる良い機会」と大変喜ばれた。

終演後には生徒から「鳥肌が立った」「ピアノを聴いたことはなかったけれど、演奏の世界に惹き込まれた」「ピアノからあんなにたくさんの音色が出るとは思わなかった」といった感想が届いた。また、小学校の校長先生より「演奏に刺激を受け、休み時間にピアノの練習をする子が増えた」というお言葉も頂戴した。

今回のアウトリーチでは、子供達に音楽、ピアノの良さを伝えられていたら嬉しい。コロナ禍で危ぶまれる活動ではあるが、その中だからこそ成果を発揮できたようにも感じている。今回の活動が子供達が音楽を楽しむ気持ちに繋がる事を期待する。

《今後の課題について》

体育館のような広い場所で、資料を映すためのスクリーンとピアノの位置をどう配置すれば良いのか、最善策を考えなければならないと思った。

アウトリーチの実施にあたり、今後はコロナ禍の対策も含めて、より具体的にお互いの希望に沿うような方法を見つけていきたい。

《その他》

・今回の活動がさわかみオペラ財団の助成金による事業であることを SNS や公演時に明記したところ「素敵な活動をされている財団ですね」等と、声をかけて頂くことが多かった。

・申請当時はアウトリーチを 2 校行う予定であったが、1 校に調律費をご負担いただけたことで当初の予定よりも 1 校多く学校を回る事が出来た。



以下、小学校の校長先生より今回の活動について頂戴した言葉になります。

-----  
音楽鑑賞教室。

18 歳から単身でモスクワ音楽院で全く言葉もわからない中で、ピアノだけで生きてくるといふ武者修行。華奢な印象とは全く違う力強いピアノを聞かせてくれました。

前日に調律されたピアノが、素晴らしい弾き手を得て生き生きとした音色を奏でていました。

子供たちは超絶技巧に、まるで指の関節が無いみたい！と驚いていて、笑えました。

芸術に触れることは数値では表せない力を子供たちに育てます。刺激を受けて、休み時間の音楽室ではピアノの練習をする子が増えるほど。

将来母校のピアノで活躍して欲しいものです。ピアノという楽器の奥の深さを味わって幸せな気持ちになりました。このような学校行事があるから学校は素晴らしい。